

好学尚武

応援歌

♪ 真っ赤に燃ゆる太陽に
光を浴びて流れる血潮
勝利を目指し輝く勇士
正々堂々 いざ行かん
誇り高きわれらの市高
あゝ市高 無敵の王者

何の曲なのかさっぱり分からぬと思いませんが（市高関係者でも分からぬ人が多いと思いますが）これは市高第2応援歌の歌詞になります。私が高校生の頃は（市高にも）応援団があつて、壮行会やスタンドでの応援時によく歌われていました。第2があるのでから当然第1応援歌もあり、どちらも作詞が個人名、作曲が音楽部と桑久保先生（当時の音楽の先生）になっています。当時の市高生（私にとって先輩）が作詞したものを作曲したと聞いています。

なぜそんなことを話題にしているか…
実は生徒手帳が電子化されることになり…
その電子化されるものに応援歌は加わらない…（校歌のみ）。そんな流れになっているようなのです。時代の流れで仕方のない面があるのは理解していますが、これは残していただきたい。3学期、私が儀式行事の司会を担当するので、始業式に壮行会があったら応援歌を1人で歌ってやろうと思いましたが、壮行会自体がありませんでした…

各部に連絡です。3学期の範囲で、大きな大会への出場を決めて下さい（壮行会を開くようにして下さい）。私が応援歌の存在をアピールする場をつくっていただきたいと思います。
よろしくお願ひします。

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 8. 1. 13

発行ナンバー 1241号

（鈴木主将の代…43号）

継続（習慣）は力なり

受験シーズンになりました。

もう何年も、職員の中で朝1番早く出勤している私、橋（基本、朝混む）を2つ（川と鉄道）越えなければならずその渋滞を避けるため、また、通勤通学の時間帯、交通安全面のリスクを回避したいためにそうするようにしています。

朝、勤務する前の時間余裕を持って過ごすことは、私にとってとても良いものになっています（これは経験した者にしか分からぬと思います。過去にも何度か書いています）。

そんなこともあります、市高の体育館入口を毎朝、ある程度早い時間に開けていますが、毎年（今年も）朝の時間を活用（勉強）している生徒と出くわします。大事なのは受験直前そのような生活に変えたのではないということです（=習慣）。多分、3年生になって、部活動を引退したあたりからなのではないでしょうか…想像して下さい。朝の教室で自分1人（集中できると思います）、1日1時間→週5時間→月20時間→5カ月で100時間…間違ひなくその成果はあるのではないでしょうか。（毎年そのような生徒がいるので、その生徒の受験結果を見るようにしていますが、皆、素晴らしい受験結果で卒業していっていることがすべてを物語っていると思います）。

「早寝早起きは人を健康にし、裕福にし、賢くする」これはアメリカ独立宣言をしたベンジャミン・フランクリンの言葉ですが、本当にその通りなのではないかと私は思います。

生徒の皆さん、朝、校舎内で会うのを楽しみにしています（笑）。